



令和6年度 決算報告

9月の定例議会で、令和6年度の一般会計と2つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。その主な内容をお知らせします。

問い合わせ 総務課

未来に続く岡垣町のために

岡垣町では、人口減少を見据え、数十年先を見通したまちづくりと住民のウェルビーイング向上を目指した取り組みを進めています。

令和6年度は「学校施設の適正配置の検討」、「海老津駅周辺の整備事業」、「屋内スイミング施設の誘致」などを行いました。また、子育て支援の充実を図るため、「中学校給食費の半額補助」や「子ども医療費の自己負担額の見直し」などの取り組みを進め、住民満足度の向上に努めました。



熱戦と町の魅力をお届け

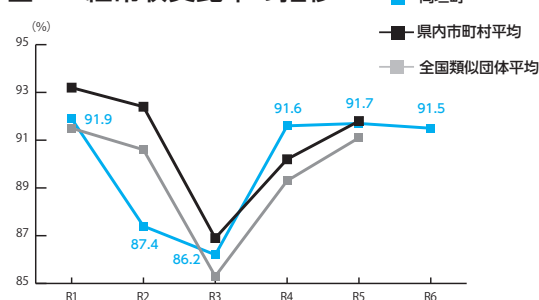
宗像市と岡垣町を舞台に開催された「マイナビツール・ド・九州2024」福岡ステージでは、観戦イベントやインバウンド観光客も楽しめるツアーなどで大会を盛り上げました。さらに、レース観戦を通じて町内外の多くの人に地元の食料や観光資源を楽しんでいただきました。

このような取り組みによって、町の魅力を広く発信する機会となりました。

決算の概要

一般会計決算額の実質収支は、収入と支出の差引額から令和7年度に繰り越す必要がある2億1270万円を除き、5億8617万円となりました。

図1 経常収支比率の推移



経常収支比率 って何？

経常収支比率とは、財政状況の余力を示す数値のことです。人件費などの経常的に支出される経費と、町税などの経常的に収入される一般財源との比率で、数値が低いほど財政状況に余力があるとされています。





収入の状況

令和6年度の収入総額は135億5,649万円となり、前年度から2億3,861万円増加しました。

【自主財源】

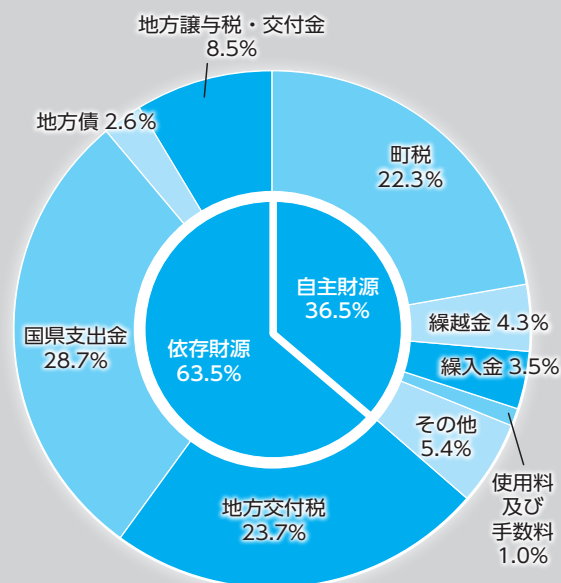
定額減税により個人住民税が減少しました。また、岡垣サンリーアイなどの公共施設の使用料などは増加しましたが、ふるさと納税による寄附金は減少しました。

【依存財源】

地方交付税や地方消費税交付金が増加しました。また、定額減税の減収の補填や物価高騰対策交付金の増加により国庫支出金が増加しました。一方、地方債は工事などが少なかったことから減少しました。

自主財源…町税など、町が自主的に収入できる財源のこと。

依存財源…国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入のこと。

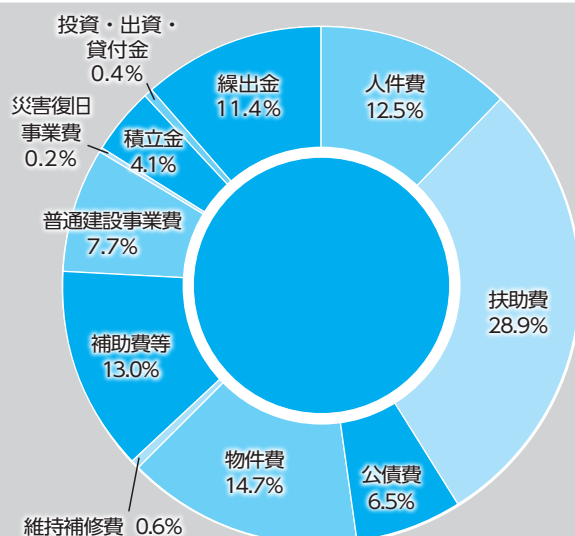


一般会計収入総額 135億5,649万円

支出の状況

令和6年度の支出総額は127億5,762万円となり、前年度から1,949万円増加しました。

前年度に比べ、子育て世帯や障がいのある人などの支援に関する扶助費が大きく増加しました。一方で、工事が少なかったことから普通建設事業費が減少したほか、おかがき応援寄附金が減少した影響で積立金が大きく減少しました。



一般会計支出総額 127億5,762万円

単年度収支とは？

実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額です。実質収支中には前年度以前の収支残があるため控除し、当該年度だけの収支を算出します。

実質単年度収支とは？

財政調整基金への積立金や取り崩しによる繰入金などを取り除いた単年度収支です。

表1 単年度収支の算出

	令和5年度	令和6年度
実質収支	5億4,039万円	5億8,617万円
単年度収支	△1億1,410万円	4,578万円
財政調整基金積立	9,274万円	1億585万円
財政調整基金取崩	8,474万円	—
実質単年度収支	△1億610万円	1億5,163万円



自然を守り、活かし交流を生むまち

■三里松原と美しい海岸の保全事業——498 万円

各協議会と連携して松葉かきやラブアースクリーンアップを実施したほか、国・県に対して三里松原保全に関する要望活動を行いました。

■その他

- PFOS・PFOAの水質検査補助 7万円
- 荒廃森林整備事業 401万円
- 公園等管理事業 2,111万円

など



地域資源を活かし発展するまち

■野生動物緩衝林整備事業——1,641 万円

野生動物とのすみ分けを図ることを目的に、不要木の伐採などの緩衝林の整備を行いました。

■観光推進事業——6,818 万円

観光協会が行うほろ酔いバスツアーなどの観光商品の開発を支援したほか、「マイナビ ツール・ド・九州2024」福岡ステージの開催にあわせてイベントを行うなど、観光振興に取り組みました。

■その他

- 農業施設整備 9,470万円
- 漁業施設整備 537万円
- 商工業の振興事業 6,758万円

など



人・つながりが育つまち

■岡垣サンリーアイ施設改修事業——3,035 万円

駐車場の拡張や施設を維持するための工事を行いました。

■小中学校施設整備事業——1億 3,872 万円

学校での児童生徒の安全確保と快適な環境の整備のため、海老津小学校のグラウンド改修や防犯カメラの更新などの工事を行いました。

■その他

- 岡垣サンリーアイ施設管理運営 2億 2,828万円
- 学校施設適正配置検討事業 149万円
- 小・中学校、体育施設へのAED設置 272万円
- こども計画策定 331万円
- 学童保育所管理運営 7,309万円

など



令和6年度に実施した主な取り組みを紹介します。

「自然と共生するしあわせ実感都市

岡垣」の実現に向けて



誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

■子ども医療事業——1億 6,387 万円

安心して医療を受けられる環境を整えるため、令和6年10月から自己負担額を見直しました。

■その他

- 高齢者福祉事業 1,952 万円
- 健診等事業 2,727 万円
- いこいの里管理運営 5,755 万円

など



安全・快適に暮らせる持続可能なまち

■交通安全対策施設整備事業——2,687 万円

子どもたちが安全に通学できるよう、通学路の歩道拡幅工事などを行いました。

■海老津駅周辺整備事業——4,989 万円

町の玄関口である JR 海老津駅周辺の活性化のために用地取得などを進めました。

■避難行動要支援者避難支援事業——84 万円

災害が発生したときに支援を必要とする人が円滑に避難できる体制を整えるため、名簿管理などを行いました。

■その他

- コミュニティバス・乗合タクシーの運行 7,937 万円
- 公園等管理事業 2,111 万円

など



計画推進の基盤

■広報事業——1,078 万円

自治区に協力いただいて配布していた広報おかがきについて、自治区の負担軽減を図るため、11月号からポスティングによる配布を開始しました。

■その他

- まつり岡垣補助金 638 万円
- コミュニティ活動支援 981 万円

など





ライフステージに応じて子育てを支援！

おかがき子育て応援パッケージの主な事業

令和6年度に実施した主な事業は次のとおりです。

■民間保育所・認定こども園等運営委託

5億 7,220 万円



0～2歳児の保育料を軽減するため、国基準額からの軽減率を11%程度から20%程度まで拡大しました(3～5歳児は無償)。

■子ども医療

1億 6,387 万円



小学生から18歳までの人を対象に、医療機関での通院時の自己負担額を月1,200円から500円に引き下げました(未就学児は無料)。

■中学校給食費の補助

2,622 万円 *New!*



教育費が増加するといわれる中学生の保護者の負担を軽減するため、中学校給食費の半額補助を行いました。

■児童生徒等の相談・支援体制の強化

75 万円



小・中学校のスクールカウンセラーの配置時間を、福岡県が配置する時間に加えて町の予算で拡充し、支援を強化しました。

■認可保育所の新設

2億 624 万円 *New!*



待機児童の解消に向けて保育定員を拡大するため、民間保育所の施設整備の補助を行いました。



：乳児期



：幼児期



：学童期以降

水道水を安心して使ってもらうための会計です。主な収入は水道料金で、主な支出は水道の施設工事費や浄水場・配水池の維持管理費です。

■水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	5億 5,840 万円	2億 4,455 万円
支出	5億 2,760 万円	4億 8,222 万円

■下水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	8億 5,231 万円	2億 7,450 万円
支出	8億 4,350 万円	4億 9,609 万円

※収支は税抜きの金額。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。

家庭から出る汚水を処理し、生活環境を清潔に保つための下水道の整備や維持管理を行うための会計です。主な収入は下水道使用料や受益者負担金、一般会計からの繰入金で、主な支出は下水道の施設工事費や浄化センターの維持管理費です。

公営企業会計

2つの公営企業会計と2つの特別会計の令和6年度決算額をお知らせします。

令和6年度 公営企業会計・特別会計



基金と町債

基金残高の推移は図2のとおりです。令和6年度は、基金から4億8,174万円取り崩しましたが、積立額が5億1,927万円となったため、基金残高は前年度末と比較して3,753万円増加し、5年連続で増加しました。

町債残高の推移は図3のとおりです。令和6年度の町債借入額は、前年度末と比較して1億7,025万円減少し、3億5,648万円となり、町債残高は4億5,706万円減少しました。

図2 基金残高の推移

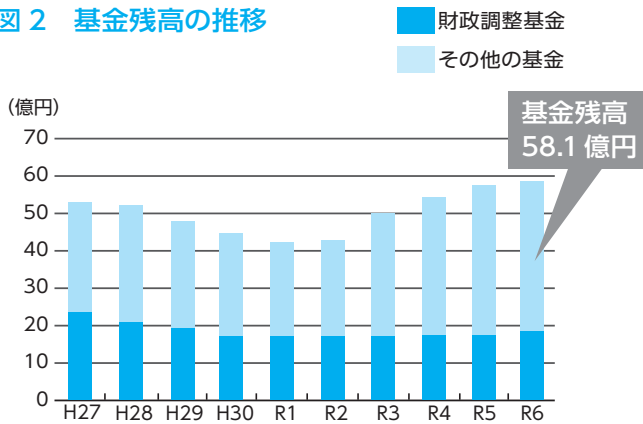
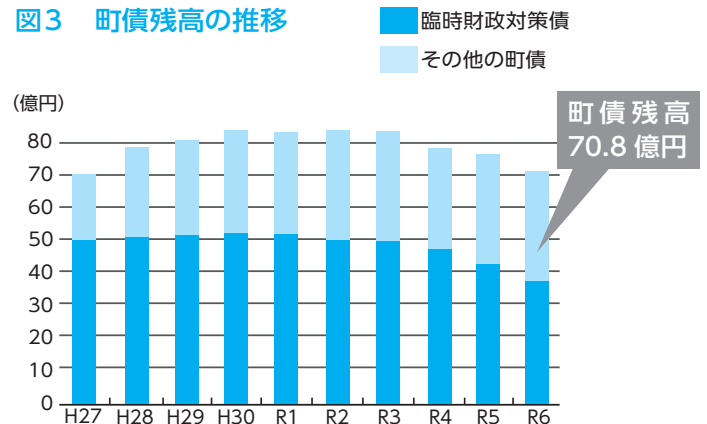


図3 町債残高の推移



今後に向けて



令和6年度の決算規模は過去2番目に大きな額となりました。今後も物価高騰の影響や扶助費の増加など、経常的な負担が財政運営の大きな課題になると予測しています。さらに、道路などのインフラ施設や公共施設の老朽化対策費用と学校施設の適正配置に伴う費用が増加することに加え、公債費の負担が重なることで、厳しい財政状況が続く見込みです。

このため、財政の健全性を確保しつつ、事業推進とのバランスを維持することが不可欠です。将来を見据えて今やらなければならないことに取り組みながら、今暮らしている住民の幸福度を高める施策を展開し、持続可能なまちづくりを進めていきます。また、国の経済動向や政策を的確に反映させながら、長期的な視点で計画的な財政運営を行い、将来の見通しに基づいた施策を進めていく方針です。こうした総合的な取り組みを通じて、「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」の実現を目指していきます。



国民健康保険加入者の保険給付や保健事業を行う会計です。主な収入は国民健康保険税や県からの補助金、一般会計からの繰入金などです。主な支出は保険給付費や国民健康保険事業費納付金などです。

後期高齢者医療制度の保険料の徴収などを行う会計です。主な収入は後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金で、主な支出は後期高齢者医療広域連合への納付金です。

■国民健康保険事業

収入 33億1,619万円

支出 30億5,018万円

■後期高齢者医療事業

収入 7億2,522万円

支出 6億9,975万円

特別会計